

2 結果の概要

<ペーパーテスト>

- ・各教科とも、基礎的・基本的な内容については昨年度同様全体として十分身に付いていると言える。
- ・昨年度課題として明らかになった「総合的に判断する力、状況に応じて適切に表現する力」等については、各教科とも改善の成果がみられる。
- ・今後とも、「文章、資料、図表等を深く読み取る力、論理的に考察し筋道を立てて適切に書く力」等について、一層充実させていく必要がある。

【教科別具体事例】（○：十分身に付いている力 △：一層高めていく必要がある力）

- ・国語……………○話されている内容や話し手の意図を考えて聞く力、漢字を正しく読む力など
△考えた事などを筋道を立てて書く力、漢字を正しく書く力など
- ・社会……………○代表的な人物名や用語の理解、基本的な資料の読み取りや資料を選択する力など
△地図の読図技能や知識・理解を基に理由や背景を考える力、考えをまとめて表現する力など
- ・算数、数学○簡単な四則計算の技能、簡単な方程式の立式、図形の性質の理解など
△数量の関係をとらえ、式に表現する力や複数の根拠を用いて考察する力など
- ・理科……………○自然事象についての基本的な知識・理解や観察、実験の結果から関係付けて考える力など
△観察、実験などを計画的に行っていく資質・能力など
- ・英語……………○短い英文から大まかな内容や大切な部分を聞き取ったり、読み取ったりする力など
△状況に応じて適切な表現を選ぶ力、読み手を想定して伝わるように書く力など

【教科別改善の方向】

- ・国語……………◇言葉や文章の構成に気を付けて読む機会、自分の考えをまとめて書いたり交流したりする機会の充実
- ・社会……………◇資料を基にして、社会的現象の意味を多面的に考えたり交流したりする機会の充実
- ・算数、数学◇数学的に表現する機会や算数、数学の有用性を実感する機会の充実
- ・理科……………◇事象の中に問題を見出し、見通しをもった実験・観察を実施する機会の充実
- ・英語……………◇具体的な活動場面を設定し、コミュニケーションを図る目的に応じて表現する機会の充実

<質問紙調査>

- ・勉強によって身に付けたいと考えている力は、「じっくり考える力」や「自ら興味をもって取り組もうとする力」を第一に上げている児童生徒が多い。
- ・進んで勉強する気持ちになれるのは、「分からないことが分かるようになるとき」や「勉強のやり方が分かったとき」を第一に上げている児童生徒が多い。
- ・今後、児童生徒が分からないことを自ら克服する力などを身に付けるとともに、より確かな理解ができるよう、少人数指導などの個に応じたより一層きめ細かな指導の充実が必要である。
- ・学習することの意義や目的を理解し、目標をもって主体的に学習する態度の育成や望ましい学習習慣が身に付くような指導を一層充実させていく必要がある。